



11月は、越知町でも“おなばれ”（神祭）が執り行われます。
日本では「八百万の神」といって様々なものを祀り感謝の心をあらわしています。

中でも神秘的な森を持つ明治神宮は大正9年（1920）11月1日に鎮座祭（新しく創られた神社の社殿に祭神を祀ること）が行われました。

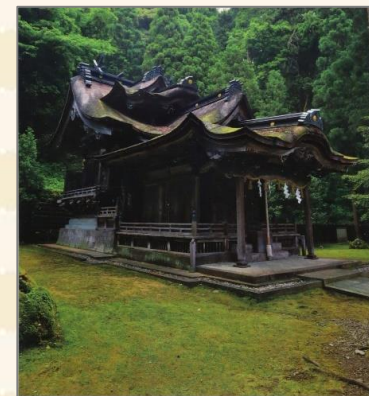


明治神宮 拝殿

明治天皇と皇后が祀られており1915年荒地であった土地に全国から延べ11万人が集まり造営に当たった。当時、学者たちはこの土地の50年後を見据えた森創を計算し、進化を続ける未完成の森として設計しており、世界に類をみない森として注目されています。



明治神宮のおみくじには大吉や凶といった運勢の表記はなく、和歌が記されているそうです。その和歌は明治天皇と皇后が詠まれた多くの和歌より人々の生活の指針になるような内容のものを30首選ばれているそうです。また、大相撲の横綱が土俵入りを奉納するのも明治神宮です。



神々が見える
神社100選

新潮社

まんがで読破してみませんか？！

聞いたことのある名作、教科書に載っていたり学校で習った気がするコトをサクッとまんがで読んでみませんか？



太宰治「人間失格」



「三国志」



ドストエフスキー
「カラマゾフの兄弟」

ルソー「社会契約論」

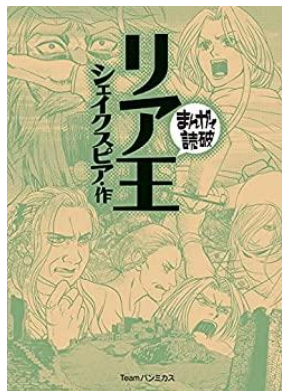


「ナポレオン言行録」

岡倉天心「茶の本」



シアインシュタイン「相対性理論」



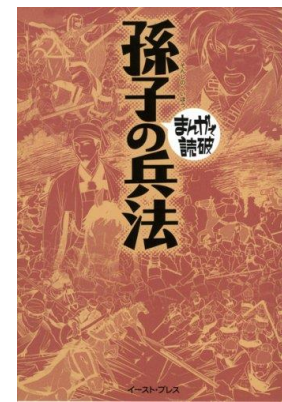
シェイクスピア「リア王」



「万葉集」



宮本武蔵「五輪書」



「孫子の兵法」



…と思っていた方、ぜひチャレンジしてみてください。